

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	流通経済大学
設置者名	学校法人日通学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学 共通科目	学部等 共通科目	専門 科目	合計			
経済学部	経済学科	夜・通信	6	8		14	13		
	経営学科	夜・通信				14	13		
共創社会学部	地域人間科学科	夜・通信		2		6	14	13	
	国際文化ツーリズム学科	夜・通信				6	14	13	
流通情報学部	流通情報学科	夜・通信			8		14	13	
法学部	法律学科	夜・通信		8			14	13	
	自治行政学科	夜・通信					14	13	
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学部	夜・通信		6		2	14	13	
	スポーツコミュニケーション学科	夜・通信				2	14	13	
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表 <a href="https://www.rku.ac.jp/faculty/syllabus/">https://www.rku.ac.jp/faculty/syllabus/</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
------

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	流通経済大学
設置者名	学校法人日通学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表  
<https://www.rku.ac.jp/about/data/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(現職)なし	2023. 6. 1 ～ 2025. 5. 31	
非常勤	(現職)会社役員	2023. 6. 1 ～ 2025. 5. 31	
非常勤	(現職)会社役員	2023. 6. 1 ～ 2025. 5. 31	
非常勤	(現職)会社役員	2024. 4. 1 ～ 2025. 5. 31	
非常勤	(現職)他大学名誉教授	2023. 6. 1 ～ 2025. 5. 31	
非常勤	(現職)公認会計士	2023. 6. 1 ～ 2025. 5. 31	
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	流通経済大学
設置者名	学校法人日通学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)の作成について、教員に1月末から2月末までインターネットを利用して、シラバス入稿を依頼している。</p> <p>また、授業計画(シラバス)の公開は、学生の履修登録前の3月上旬に実施している。</p> <p>各学部とも同様の取扱いをしている。</p>	
授業計画書の公表方法	ホームページ <a href="https://www.rku.ac.jp/faculty/syllabus/">https://www.rku.ac.jp/faculty/syllabus/</a>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>試験の結果やレポートの内容などに基づいて、各学生の学修成果を判定している。</p> <p>また、学修成果に基づき、成績[合格 S(90点以上)、A(80~89点)、B(70~79点)、C(60~69点)、不合格 D(59点以下)、/(評価不能)]を判定している。</p> <p>シラバスに記載した「成績評価の方法」により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。</p> <p>各学部とも同様の取扱いをしている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

GPAは、GPA対象授業科目のうち、履修登録した科目についてそれぞれの単位数にグレードポイント（4、3、2、1、0のいずれか）をかけ、その合計ポイントを単位数の総和で割ったものとなる。

成績評価に対するグレードポイントは下記の通りです。

評価	S	A	B	C	D	/	R
グレードポイント	4	3	2	1	0	0	適用除外

GPAは、学生の学習意欲を高めるとともに、本学が掲げる教育の質の保証について具体化を進め、適切な修学指導に資することを目的として実施している。

各学部とも同様の取扱いをしている。

客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ <a href="https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf">https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf</a> の各学部 2024 年度入学生
------------------	--

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

各学部学科のディプロマポリシーは、下記の通りです。

なお、全学部全学科とも、4年以上在学し、卒業判定で卒業に必要な所定の単位(124単位以上)を修得した学生は、卒業となる。

経済学部経済学科

経済学科では、「経済・社会情勢を的確に見極めるための基礎知識を持ち、実践の場においてこれを応用できる人材を養成」することを目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士(経済学)の学位を授与します。

【ゆたかな教養】

DP1-1：人文・思想、地域・歴史、社会、自然、健康および外国語に関する幅広い教養を学び、持続可能な社会で活用できる見識と能力を身に付けている。

DP1-2：就職、仕事、家庭や趣味などを含めた人生全体を形成するための知識、方法や資格を身に付けている。

【知識と技能】

DP2-1：経済学の理論と現実の経済をバランスよく学習し、それにもとづいて課題に対応していく知識や技能、態度を身に付けている。

DP2-2：実践的な講座により培われた知識と技能に基づいた社会・企業における職務遂行能力を身に付けている。

【問題発見と解決力】

DP3：自分で考え、周囲の人と意思の疎通を図りながら、問題を解決していく知識や能力、態度を身に付けている。

【コミュニケーション力と社会貢献力】

DP4：国際社会やビジネスの現場で活躍するために必要なコミュニケーション力を身に付けている。

経済学部経営学科

経営学科では、「経営学全般の基礎的理論の修得をはかり、さらに実践的教育をほどこすことを通して現場の多様な課題に対応できるスペシャリストの養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士(経営学)の学位を授与します。

【ゆたかな教養】

DP1-1：人文・思想、地域・歴史、社会、自然、健康および外国語に関する幅広い教養を学び、持続可能な社会で活用できる見識と能力を身に付けている。

DP1-2：就職や仕事、家庭、趣味などを含めた人生全体を形成するための知識や方法、資格を身に付けている。

【知識と技能】

DP2-1：起業・マネジメント、流通・マーケティング、会計・ファイナンスの各分野からなる経営学に関する幅広い知識と技能を理解し、それらを実践できる能力を身に付けている。

DP2-2：経営に関する幅広い知識と技能を営利または非営利の組織活動に適用できる能力を有している。

【問題発見と解決力】

DP3：多様化する企業の経営課題を発見し、データを収集・分析したうえで、経営課題を解決するような提案を行うことができる。

**【コミュニケーション力と社会貢献力】**

DP4：多様な価値観をもつステークホルダーと積極的に意思疎通のできるコミュニケーション力、ならびに多様な人々と協力し、持続可能な社会に貢献する意欲と態度を身に付けている。

**共創社会学部地域人間科学科**

地域人間科学科では、「産業、社会、文化、地域、教育、福祉等にかかわる諸問題に適切に対応しうる実証的な思考能力と行動力を備えた人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身に付けた学生の卒業を認定し、学士（社会学）の学位を授与します。

**【ゆたかな教養】**

DP1：様々な分野で創造性と人間性を発揮し、広く社会に貢献できる豊かな教養、そして多様な文化を理解し自己の意思を表現するための外国語運用能力、また生涯学び成長し続けていくための土台を築き、卒業後のキャリアを自ら構想する能力を身に付けている。

**【知識と技能】**

DP2-1：社会学や心理学を基盤とした実践的・実証的な社会科学の知識・技能、またその成果を社会に還元しようとする姿勢を身に付けている。

DP2-2：実践に基づいた社会学、心理学、社会福祉学、保育学のいずれかひとつ、または複数についての専門的知識・技能を身に付けている。

**【問題発見と解決力】**

DP3：知識やスキルの活用能力、批判的・論理的思考力、表現能力、他者の思いや考えを受け取る力、および自ら問題を発見し解決を試みる能動的な姿勢を身に付けている。

**【コミュニケーション力と社会貢献力】**

DP4：多様な価値観をもつ人々との相互理解を実現するコミュニケーション力を備えるとともに、知識・技能を活かして社会に学び社会に貢献する意欲と態度を身に付けている。

**共創社会学部国際文化ツーリズム学科**

国際文化ツーリズム学科では、「観光に関わる生活、産業、社会、文化などの分野で、柔軟な思考能力と専門的な知識を備えて活躍する国際的人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身に付けた学生の卒業を認定し、学士（社会学）の学位を授与します。

**【ゆたかな教養】**

DP1：様々な分野で創造性と人間性を発揮し、広く社会に貢献できる豊かな教養、そして多様な文化を理解し自己の意思を表現するための外国語運用能力、また生涯学び成長し続けていくための土台を築き、卒業後のキャリアを自ら構想する能力を身に付けている。

**【知識と技能】**

DP2-1：社会学的方法を基盤として実証的ないし実践的に多文化共生、地域環境、国際観光ビジネスの分野を理解する態度を身に付けている。

DP2-2：多文化共生、地域環境、国際観光ビジネスの三つの領域の一つまたは複数についての、専門的かつ実践的な知識を身に付けている。

**【問題発見と解決力】**

DP3：幅広い仕事の現場やその他の社会生活の局面において、主体的に問題発見

し、その解決に向けて行動する態度を身に付けている。

**【コミュニケーション力と社会貢献力】**

DP4-1：社会の多様性を背景とした、英語コミュニケーション能力または多角的な思考能力を身に付けている。

DP4-2：多様な価値観をもつ人々との相互理解を実現するコミュニケーション力を備えるとともに、知識・技能を活かして社会に学び社会に貢献する意欲と態度を身に付けている。

**流通情報学部流通情報学科**

流通情報学科では、「ロジスティクスの考え方を核として、広い視野を持って経済・社会システムをデザインすることができる人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身に付けた学生の卒業を認定し、学士（流通情報学）の学位を授与します。

**【ゆたかな教養】**

DP1-1：人文・思想、地域・歴史、社会、自然、健康および外国語に関する幅広い知識を有し、人生全般において文化的で豊かな生活を営むための教養と見識を身に付けている。

DP1-2：キャリアデザインおよび社会貢献に資する教養と見識を身に付けている。

**【知識と技能】**

DP2-1：流通、物流および情報の学際領域である流通情報学に関する幅広い知識と技能を有し、経済・社会システムをデザインする能力を身に付けている。

DP2-2：実践的な講座により培われた知識と技能に基づいた社会・企業における職務遂行能力を身に付けている。

**【問題発見と解決力】**

DP3：複雑化する社会における諸問題を発見し、情報やデータを収集・整理し、論理的に分析・解決する能力を身に付けている。

**【コミュニケーション力と社会貢献力】**

DP4：多様な価値観をもつ人々と積極的に意思疎通のできるコミュニケーション力、ならびに多様な人々と協働し、包摂的で持続可能な社会に貢献する意欲と態度を身に付けている

**法学部法律学科**

法律学科では、「法の各分野を体系的に学ぶことによって法的思考力を修得するとともに、企業活動における法令遵守や企業統治の現代的意義を深く理解し、ビジネス界で実践できる人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（法学）の学位を授与します。

**【ゆたかな教養】**

DP1-1：人文・社会・自然・健康の各分野および外国語に関する幅広い教養、ならびに社会でそれらを活用できる見識と能力を身に付けている。

DP1-2：キャリア形成、家庭および地域コミュニティにおける生活など、人生のあらゆる場面において自らの生き方を主体的に構築するための知識と技能を身に付けている。

DP1-3：情報やデータを収集・整理し、論理的に分析できる能力を身に付けている。

**【知識と技能】**

DP2-1： 企業活動における法令遵守（コンプライアンス）や企業統治（コーポレート・ガバナンス）に関する幅広い知識を身に付け、それらの現代的意義を深く理解し、実践できる。

DP2-2： グローバル時代に対応し、また、社会の様々な分野で活躍しうる、法およびその関連知識と、その知識を活用できる能力を身に付けている。

**【問題発見と解決力】**

DP3： 多様化する社会や自らの生活における法的諸問題を発見し、それらを歴史的経緯などをも踏まえて理解したうえで解決する法的思考能力（リーガル・マインド）を身に付けている。

**【コミュニケーション力と社会貢献力】**

DP4： 多様な価値観をもつ人々と積極的に意思疎通のできるコミュニケーション力、専門知識やそれに基づく考察を適切に表現し、対話・討論を行う能力、ならびに多様な人々と協力し、持続可能な社会に貢献する意欲と態度を身に付けている。

法学部自治行政学科

自治行政学科では、「地方自治を担う人材を養成すべく、専門の法律や政治・行政について理解し、地方自治に関わる分野で、法的思考力や政策形成能力を発揮できる人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身に付けた学生の卒業を認定し、学士（法学）の学位を授与します。

**【ゆたかな教養】**

DP1-1： 人文・社会・自然・健康の各分野および外国語に関する幅広い教養、ならびに社会でそれらを活用できる見識と能力を身に付けている。

DP1-2： キャリア形成、家庭および地域コミュニティにおける生活など、人生のあらゆる場面において自らの生き方を主体的に構築するための知識と技能を身に付けている。

DP1-3： 情報やデータを収集・整理し、論理的に分析できる能力を身に付けている。

**【知識と技能】**

DP2-1： 公務員やNPO 職員等として地方自治体をはじめその他公共部門の一翼を担うことのできる、確かな法的思考力と政策形成能力を身に付けている。

DP2-2： 地方自治の発展、地域社会の活性化、持続可能で住みよいまちづくり等に関する幅広い知識、および地域のビジョンを描ける見識と能力を身に付けている。

**【問題発見と解決力】**

DP3： 多様化する地域社会における法的・政策的諸問題を発見し、専門知識を活用しつつそれらを論理的に分析したうえで、現実的解決策を構想し、提言する能力を身に付けている。

**【コミュニケーション力と社会貢献力】**

DP4： 多様な価値観をもつ人々と積極的に意思疎通でき、幅広い協力関係を築くことのできるコミュニケーション力、ならびにその協働を通し、地域の諸問題の改善に向けて自ら行動する社会貢献力を身に付けている。

スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科

スポーツ健康科学科では、「スポーツの競技力向上、青少年から高齢者にいたる健康の維持・増進活動、学校教育や社会教育の推進に寄与できる人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身に付けた学生の卒業を認定し、学士（スポーツ健康科学）の学位を授与します。

【ゆたかな教養】

DP1：人文・思想、地域・歴史、社会、自然および健康、キャリア、外国語などのゆたかな教養と見識を身に付けている。

【知識と技能】

DP2：生命教育を中心としたスポーツ健康科学の学問内容および方法を理解している。

【問題発見と解決力】

DP3：自ら設定した課題について、スポーツ健康科学の学問領域の知識を用いて考察することができる。

【コミュニケーション力と社会貢献力】

DP4-1：自分の考えを口頭表現、文章表現や身体表現によつて的確に伝えることができる。

DP4-2：スポーツ健康科学の知を実践の力へと高め、地域社会および国際社会のニーズにこたえることができる。

スポーツ健康科学部スポーツコミュニケーション学科

スポーツコミュニケーション学科では、「スポーツをする・みる・ささえる人材のみでなく、広く社会一般においてスポーツから得た高度なコミュニケーション能力を活用できる人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（スポーツ健康科学）の学位を授与します。

【ゆたかな教養】

DP1：人文・思想、地域・歴史、社会、自然および健康、キャリア、外国語などのゆたかな教養と見識を身に付けている。

【知識と技能】

DP2：スポーツ実践において必要となるコミュニケーション能力に関する知識・技能を身に付けている。

【問題発見と解決力】

DP3：社会における諸問題を発見し、論理的に分析・解決する能力を身に付けている。

【コミュニケーション力と社会貢献力】

DP4-1：スポーツを通じて学習したコミュニケーション力をはじめとする社会的能力を、広く社会で通用する汎用的能力へ転換できる。

DP4-2：「スポーツの力」を理解し、積極的にそれを社会貢献のために活用できる。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

ホームページ

[https://www2.rku.ac.jp/class/course\\_summary/mokuji.pdf](https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf)

の各学部 2024 年度入学生

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	流通経済大学
設置者名	学校法人日通学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ上にて公開 <a href="https://www.rku.ac.jp/about/data/management/">https://www.rku.ac.jp/about/data/management/</a>
収支計算書又は損益計算書	ホームページ上にて公開 <a href="https://www.rku.ac.jp/about/data/management/">https://www.rku.ac.jp/about/data/management/</a>
財産目録	ホームページ上にて公開 <a href="https://www.rku.ac.jp/about/data/management/">https://www.rku.ac.jp/about/data/management/</a>
事業報告書	ホームページ上にて公開 <a href="https://www.rku.ac.jp/about/data/management/">https://www.rku.ac.jp/about/data/management/</a>
監事による監査報告(書)	ホームページ上にて公開 <a href="https://www.rku.ac.jp/about/data/management/">https://www.rku.ac.jp/about/data/management/</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	
中長期計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページ上にて公開 <a href="https://www.rku.ac.jp/about/data/inspect/">https://www.rku.ac.jp/about/data/inspect/</a>
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: ホームページ上にて公開 <a href="https://www.rku.ac.jp/about/data/inspect/">https://www.rku.ac.jp/about/data/inspect/</a>
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 経済学部
教育研究上の目的（公表方法：ホームページ） <a href="https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf">https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf</a> の各学部 2024 年度入学生
(概要) 経済学部では、経済学や経営学の専門知識を基礎に、広い国際的視野と的確な情報処理能力をそなえた教養ある人材の養成を目的とする。 経済学科では、経済・社会情勢を的確に見極めるための基礎知識を持ち、実践の場においてこれを応用できる人材の養成を目的とする。 経営学科では、経営学全般の基礎的理論の修得をはかり、さらに実践的教育をほどこすことを通して現場の多様な課題に対応できるスペシャリストの養成を目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページ）  <a href="https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf">https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf</a> の各学部 2024 年度入学生
(概要)  経済学科 経済学科では、「経済・社会情勢を的確に見極めるための基礎知識を持ち、実践の場においてこれを応用できる人材を養成」することを目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（経済学）の学位を授与します。  【ゆたかな教養】 DP1-1：人文・思想、地域・歴史、社会、自然、健康および外国語に関する幅広い教養を学び、持続可能な社会で活用できる見識と能力を身に付けている。 DP1-2：就職、仕事、家庭や趣味などを含めた人生全体を形成するための知識、方法や資格を身に付けている。  【知識と技能】 DP2-1：経済学の理論と現実の経済をバランスよく学習し、それにもとづいて課題に対応していく知識や技能、態度を身に付けている。 DP2-2：実践的な講座により培われた知識と技能に基づいた社会・企業における職務遂行能力を身に付けている。  【問題発見と解決力】 DP3：自分で考え、周囲の人と意思の疎通を図りながら、問題を解決していく知識や能力、態度を身に付けている。  【コミュニケーション力と社会貢献力】 DP4：国際社会やビジネスの現場で活躍するために必要なコミュニケーション力を身に付けている。

## 経営学科

経営学科では、「経営学全般の基礎的理論の修得をはかり、さらに実践的教育をほどこすことを通して現場の多様な課題に対応できるスペシャリストの養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（経営学）の学位を授与します。

### 【ゆたかな教養】

DP1-1：人文・思想、地域・歴史、社会、自然、健康および外国語に関する幅広い教養を学び、持続可能な社会で活用できる見識と能力を身に付けている。

DP1-2：就職や仕事、家庭、趣味などを含めた人生全体を形成するための知識や方法、資格を身に付けている。

### 【知識と技能】

DP2-1：起業・マネジメント、流通・マーケティング、会計・ファイナンスの各分野からなる経営学に関する幅広い知識と技能を理解し、それらを実践できる能力を身に付けている。

DP2-2：経営に関する幅広い知識と技能を営利または非営利の組織活動に適用できる能力を有している。

### 【問題発見と解決力】

DP3：多様化する企業の経営課題を発見し、データを収集・分析したうえで、経営課題を解決するような提案を行うことができる。

### 【コミュニケーション力と社会貢献力】

DP4：多様な価値観をもつステークホルダーと積極的に意思疎通のできるコミュニケーション力、ならびに多様な人々と協力し、持続可能な社会に貢献する意欲と態度を身に付けている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ）

[https://www2.rku.ac.jp/class/course\\_summary/mokuji.pdf](https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf)  
の各学部 2024 年度入学生

（概要）

## 経済学科

経済学科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）において規定されている学位授与の要件である各種の能力を持つ人材を効果的に育成できるよう、以下のような教育内容および教育方法に基づきカリキュラムを編成・実施するとともに、教育評価を行います。

## 教育内容

CP1：国際社会で活躍できる人材の育成に向け、コミュニケーション力の向上を念頭に置いた外国語科目を配置する。（DP1-1）

CP2：広く社会に貢献できる教養豊かで視野の広い人材の育成に向け、人文科学、社会科学、自然科学に対する理解を深める教養科目を配置する。（DP1-1）

CP3：生涯学習のための知識と自己実現に向けた能動的な姿勢を育成するキャリア科目を配置する。（DP1-2）

CP4：社会人として必要な幅広い視野を身に付けるための、経済学に関連の深い他の学部、学科の科目を配置する。

- CP5：教員免許を取得するための教職科目を配置する。（DP1-2）
- CP6：体系的な経済学を学ぶ起点として、経済学の基礎理論に触れ、現実の経済現象への興味を喚起するための必修科目を配置する。（DP2-1）
- CP7：経済学の専門的知識を積上げていくために必須となる、共通の知的基盤を形成するための科目を配置する。（DP2-1）
- CP8：経済学の諸分野を学ぶために必須となる、分野に対応した専門基礎科目を配置する。（DP2-1）
- CP9：経済学の応用・発展的分野を学ぶために必須となる、専門基礎科目と連動した専門発展科目を配置する。（DP2-1、DP2-2）
- CP10：専門分野における知見と実学的な知見を融合し、ビジネスの現場で通用するコミュニケーション力を高めるための科目を配置する。（DP4）
- CP11：コミュニケーション力および課題を発見し解決する能力を育成するための演習を配置する。（DP3）

#### 経営学科

経営学科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた能力を修得させるために、以下のような教育内容および教育方法に基づき教育課程表カリキュラムを体系的に編成・実施するとともに、教育評価を行います。

#### 教育内容

- CP1：グローバルに活躍できる人材の育成に向け、コミュニケーション力の向上を念頭に置いた外国語科目を配置する。（DP1-1）
- CP2：広く社会に貢献できる教養豊かで視野の広い人材の育成に向け、人文科学・社会科学・自然科学に対する理解を深める教養科目を配置する。（DP1-1）
- CP3：生涯学習のための知識と自己実現に向けた能動的な姿勢を育成するキャリア科目を配置する。（DP1-2）
- CP4：教員免許を取得するための教職科目を配置する。（DP1-2）
- CP5：経営学に関する基本的な概念や理論を修得する専門必修科目を配置する。（DP2-1）
- CP6：経営学を構成する起業・マネジメント、流通・マーケティング、会計・ファイナンスの各分野の基礎的な知識と技能を修得する専門基礎科目を配置する。（DP2-1、DP2-2、DP3、DP4）
- CP7：経営学を構成する起業・マネジメント、流通・マーケティング、会計・ファイナンスの各分野の発展的な知識と技能を修得する専門発展科目を配置する。（DP2-1、DP2-2、DP3）
- CP8：データサイエンス力を持つ人材の育成の基礎となる情報科目を配置する。（DP1-1、DP3）
- CP9：コミュニケーション力および課題発見・解決能力を育成するための演習（ゼミ）と卒業研究を配置する。（DP4）

入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学案内 公式ホームページ）  
[https://www.rku.ac.jp/admissions/admission\\_policy/](https://www.rku.ac.jp/admissions/admission_policy/)

（概要）経済学部は、情報化やグローバル化に対応して、経済学及び経営学（会計学）の専門知識のみならず、広い国際的視野と問題解決能力を備えた「グローバルに活躍できる視野の広い実業人」を育成し、社会に送り出すことを教育目標としています。この目標を達成するため、基礎学力がある学生もさることながら、世界の経済社会の動向に関心を持ち、国内外の問題を解決して社会に貢献することに意欲的でチャレンジ精神に富む学生を求めています。経済学部が具体的に求める学生像は、以下のとおりです。

#### 【知識と理解力】

高等学校で学習する国語、英語、地理歴史、公民、数学などについて、高等学校卒業相当の知識を有し、それらの基本的内容を理解している学生

**【関心と意欲】**  
 経済活動や企業経営等に関する問題に関心を持ち、大学で学んだ知識や技能を自分の将来や社会に役立てたいという意欲がある学生

**【共感力と行動力】**  
 経済社会や企業組織が抱える諸問題に共感し、問題解決のために多様な価値観を共有しながら柔軟に対応しようとする姿勢を持っている学生

**【思考と表現力】**  
 社会のさまざまな問題を多面的かつ総合的に考察し、自分なりの判断を下すことができるとともに、自分の知識や意見を他者に分かりやすく表現することができる学生

経済学部は、上記の具体的に求める学生像に対応して、多様な選抜方法として、学校推薦型選抜、総合型選抜、一般選抜、そして、大学入学共通テスト利用型選抜を導入し、入学試験を行っています。

<p>学部等名 共創社会学部</p> <p>教育研究上の目的（公表方法：ホームページ）  <a href="https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf">https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf</a>          の各学部 2024 年度入学生</p>
<p>共創社会学部では、社会学的な素養を十分に身に付けた高度の教養人の養成を目的とする。</p> <p>地域人間科学科では、産業、社会、文化、地域、教育、福祉等にかかわる諸問題に適切に対応しうる実証的な思考能力と行動力を備えた人材の養成を目的とする。</p> <p>国際文化ツーリズム学科では、観光に関わる生活、産業、社会、文化などの分野で、柔軟な思考能力と専門的な知識を備えて活躍する国際的人材の養成を目的とする。</p>
<p>卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページ）  <a href="https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf">https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf</a>          の各学部 2024 年度入学生</p>
<p>(概要)</p> <p>地域人間科学科</p> <p>地域人間科学科では、「産業、社会、文化、地域、教育、福祉等にかかわる諸問題に適切に対応しうる実証的な思考能力と行動力を備えた人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身に付けた学生の卒業を認定し、学士（社会学）の学位を授与します。</p> <p><b>【ゆたかな教養】</b></p> <p>DP1： 様々な分野で創造性と人間性を発揮し、広く社会に貢献できる豊かな教養、そして多様な文化を理解し自己の意思を表現するための外国語運用能力、また生涯学び成長し続けていくための土台を築き、卒業後のキャリアを自ら構想する能力を身に付けている。</p> <p><b>【知識と技能】</b></p> <p>DP2-1： 社会学や心理学を基盤とした実践的・実証的な社会科学の知識・技能、ま</p>

たその成果を社会に還元しようとする姿勢を身に付けている。

DP2-2： 実践に基づいた社会学、心理学、社会福祉学、保育学のいずれかひとつ、または複数についての専門的知識・技能を身に付けている。

**【問題発見と解決力】**

DP3： 知識やスキルの活用能力、批判的・論理的思考力、表現能力、他者の思いや考えを受け取る力、および自ら問題を発見し解決を試みる能動的な姿勢を身に付けている。

**【コミュニケーション力と社会貢献力】**

DP4： 多様な価値観をもつ人々との相互理解を実現するコミュニケーション力を備えるとともに、知識・技能を活かして社会に学び社会に貢献する意欲と態度を身に付けている。

**国際文化ツーリズム学科**

国際文化ツーリズム学科では、「観光に関わる生活、産業、社会、文化などの分野で、柔軟な思考能力と専門的な知識を備えて活躍する国際的人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身に付けた学生の卒業を認定し、学士（社会学）の学位を授与します。

**【ゆたかな教養】**

DP1： 様々な分野で創造性と人間性を発揮し、広く社会に貢献できる豊かな教養、そして多様な文化を理解し自己の意思を表現するための外国語運用能力、また生涯学び成長し続けていくための土台を築き、卒業後のキャリアを自ら構想する能力を身に付けている。

**【知識と技能】**

DP2-1： 社会学的方法を基盤として実証的ないし実践的に多文化共生、地域環境、国際観光ビジネスの分野を理解する態度を身に付けている。

DP2-2： 多文化共生、地域環境、国際観光ビジネスの三つの領域の一つまたは複数についての、専門的かつ実践的な知識を身に付けている。

**【問題発見と解決力】**

DP3： 幅広い仕事の現場やその他の社会生活の局面において、主体的に問題発見し、その解決に向けて行動する態度を身に付けている。

**【コミュニケーション力と社会貢献力】**

DP4-1： 社会の多様性を背景とした、英語コミュニケーション能力または多角的な思考能力を身に付けている。

DP4-2： 多様な価値観をもつ人々との相互理解を実現するコミュニケーション力を備えるとともに、知識・技能を活かして社会に学び社会に貢献する意欲と態度を身に付けている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ）

[https://www2.rku.ac.jp/class/course\\_summary/mokuji.pdf](https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf)

の各学部 2024 年度入学生

**（概要）**

**地域人間科学科**

地域人間科学科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた能力を修得させるために、以下のような教育内容および教育方法に基づき教育課程表（カリキュラム）を体系的に編成・実施するとともに、教育評価を行います。

## 教育内容

- CP1： 広く社会に貢献できる教養豊かで視野の広い人材の育成に向け、人文科学、社会科学、自然科学に対する理解を深める教養基礎科目を配置する。(DP1)
- CP2： 多様な文化を理解し自己の意思を表現することができるように、外国語科目を配置する。(DP1)
- CP3： 専門的知識を体系的に学ぶための基盤を身に付けることができるように、情報科目を配置する。(DP1)
- CP4： 生涯、学び成長し続けていくための土台を築くことができるように、キャリア科目を配置する。(DP1)
- CP5： 社会学を基盤とし、実践的・実証的な社会科学の知識・技能を身に付けることができるように社会学および心理学の基礎・研究法等の科目を配置する。(DP2-1)
- CP6： 社会学、心理学、社会福祉学、保育学の領域において、専門的な知識・技能を身に付けることができるように、専門科目（講義）および実習・演習科目を配置する。(DP2-2)
- CP7： コミュニケーション力を育成するとともに、自ら問題を発見し解決を試みる能動的な姿勢をもつことができるように、1学年から4学年まで演習（ゼミ）を配置する。また、卒業論文を課すことによって、各自の学習成果を社会に還元できるようにする。(DP3、DP4)

## 国際文化ツーリズム学科

国際文化ツーリズム学科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた能力を修得させるために、以下のような教育内容および教育方法に基づき教育課程表（カリキュラム）を体系的に編成・実施するとともに、教育評価を行います。

## 教育内容

- CP1：
- 社会人として幅広い視野を身に付けるとともに、専門分野を体系的に学ぶ基盤を作るために、教養科目を配置する。(DP1)
  - 国際社会で活躍できる人材の育成に向け、コミュニケーション能力の向上を念頭に置いた外国語科目を配置する。
  - 専門的知識を体系的に学ぶための基盤を身に付けることができるように、情報処理科目を配置する。
- CP2： 生涯に渡り、主体的、能動的に生きる姿勢を養うために、キャリア科目を配置する。(DP1)
- CP3： 社会学的方法を基礎に多文化共生、地域環境、国際観光ビジネスを学ぶために基盤となる知識を修得するための基礎科目を置く。(DP2-1)
- CP4： 多文化共生、地域環境、国際観光ビジネスの三つのモデルを配置し、それぞれの領域において専門的知識を体系的に学修できる講義科目を配置する。(DP2-2)
- CP5： 多文化共生、地域環境、国際観光ビジネスの領域での主体的かつ実践的な学修が可能な科目を配置する。(DP2-2)
- CP6： 専門分野に対する理解をより深めるために、社会、経済、経営、法学等において関連する科目を配置する。(DP2-2、DP3)
- CP7： 主体的に問題を発見し解決する能力を段階的に育成するために、1学年から4学年まで、演習（ゼミ）を配置する。また、4学年には、問題発見、解決過程の論理的な表現として卒業論文を課す。(DP3、DP4-2)
- CP8： 英語によるコミュニケーション力を高めるために、外国語科目の他に、学科

<p>の英語必修科目「English for Global Communication」を配置する。(DP4-1)</p>
<p>入学者の受入れに関する方針(公表方法: 大学案内 公式ホームページ )  <a href="https://www.rku.ac.jp/admissions/admission_policy/">https://www.rku.ac.jp/admissions/admission_policy/</a></p>
<p>(概要) 社会は多様な集団や組織、ネットワークの集合体として成り立っています。現代社会における情報化やグローバル化は個々人の価値観や組織のあり方に変化をもたらすとともに、社会全体の構造の複雑化ももたらしています。共創社会学部ではこのような社会のあり方を理解し、個々人がより心地よく暮らせる社会へと変革していけるような人材の育成を目指し、「社会的な素養を十分に身に付けた高度の教養人の養成」を教育目標として掲げています。この目標を達成するため、広く、人間社会のあり方や人間社会の出来事に着目し、さまざまな社会集団や組織、国や地域の歴史や文化、人間やその関係のあり方、価値観の多様性などについて学びたい学生の入学を期待しています。ただし、基礎学力もさることながら、柔軟な思考力をもって他者と協力し社会に貢献しようとする姿勢を重視しています。共創社会学部が具体的に求める学生像は、以下のとおりです。</p> <p><b>【知識と理解力】</b>          高等学校で学習する学科目について、高等学校卒業相当の知識を有している学生</p> <p><b>【関心と意欲】</b>          人や社会に関わる問題や現象に関心を持ち、人および社会について幅広く学び、必要な技能を身に付ける意欲を持っている学生</p> <p><b>【共感力と行動力】</b>          人や社会が抱える諸問題に共感し、問題解決のために他者と協力して行動しようとする姿勢を持っている学生</p> <p><b>【思考と表現力】</b>          社会のさまざまな問題を多面的かつ総合的に考察し、自分なりの判断を下すことができるとともに、自分の知識や意見を他者に分かりやすく表現することができる学生</p> <p>共創社会学部は、上記の具体的に求める学生像に対応して、多様な選抜方法として、学校推薦型選抜、総合型選抜、一般選抜、そして、大学入学共通テスト利用型選抜を導入し、入学試験を行っています。</p>

<p>学部等名 流通情報学部</p>
<p>教育研究上の目的(公表方法: ホームページ)  <a href="https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf">https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf</a>          の各学部 2024 年度入学生</p>
<p>(概要)</p> <p>流通情報学部では、情報科学と流通科学の両者を有機的統合した視点から、これからの新しい社会の姿をデザインできる人材の養成を目的とする。</p> <p>流通情報学科では、ロジスティクスの考え方を核として、広い視野を持って経済・社会システムをデザインすることができる人材の養成を目的とする。</p>
<p>卒業又は修了の認定に関する方針(公表方法: ホームページ)  <a href="https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf">https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf</a>          の各学部 2024 年度入学生</p>

(概要)

流通情報学科

流通情報学科では、「ロジスティクスの考え方を核として、広い視野を持って経済・社会システムをデザインすることができる人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身に付けた学生の卒業を認定し、学士（流通情報学）の学位を授与します。

【ゆたかな教養】

DP1-1：人文・思想、地域・歴史、社会、自然、健康および外国語に関する幅広い知識を有し、人生全般において文化的で豊かな生活を営むための教養と見識を身に付けている。

DP1-2：キャリアデザインおよび社会貢献に資する教養と見識を身に付けている。

【知識と技能】

DP2-1：流通、物流および情報の学際領域である流通情報学に関する幅広い知識と技能を有し、経済・社会システムをデザインする能力を身に付けている。

DP2-2：実践的な講座により培われた知識と技能に基づいた社会・企業における職務遂行能力を身に付けている。

【問題発見と解決力】

DP3：複雑化する社会における諸問題を発見し、情報やデータを収集・整理し、論理的に分析・解決する能力を身に付けている。

【コミュニケーション力と社会貢献力】

DP4：多様な価値観をもつ人々と積極的に意思疎通のできるコミュニケーション力、ならびに多様な人々と協働し、包摂的で持続可能な社会に貢献する意欲と態度を身に付けている

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ）

[https://www2.rku.ac.jp/class/course\\_summary/mokuji.pdf](https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf)

の各学部 2024 年度入学生

(概要)

流通情報学科

流通情報学科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた能力を修得させるために、以下のような教育内容および教育方法に基づき教育課程表（カリキュラム）を体系的に編成するとともに、教育評価を行います。

教育内容

CP1：広く社会に貢献できる教養豊かで視野の広い人材の育成に向け、人文科学、社会科学、自然科学に対する理解を深める教養科目を配置する。（DP1-1）

CP2：国際社会で活躍できる人材の育成に向け、コミュニケーション力の向上を念頭に置いた外国語科目を配置する。（DP1-1）

CP3：生涯学習のための知識と自己実現に向けた能動的な姿勢を育成するキャリア科目を配置する。（DP1-2）

CP4：教員免許を取得するための教職科目を配置する。（DP1-2）

- CP5 : 流通情報学の基盤であるロジスティクスと情報学の基本概念を修得する専門共通科目を配置する。(DP2-1)
- CP6 : 流通情報学を構成する流通・物流、情報・データサイエンス、融合分野に関する基礎的な知識と技能を修得する専門基礎科目を配置する。(DP2-1)
- CP7 : 流通・物流、情報・データサイエンス、融合分野に関連する実社会を体験し、その現状を理解する専門実践科目を配置する。(DP2-2)
- CP8 : 流通・物流、情報・データサイエンス、融合分野における専門知識を生かし、社会課題の解決に向けて問題発見・解決能力を修得する専門発展科目を配置する。(DP2-1、DP3)
- CP9 : データサイエンス力を持つ人材の育成の基礎となる情報科目を配置する。(DP3)
- CP10 : コミュニケーション能力および課題発見・解決能力を育成するための演習(ゼミ)と卒業研究を配置する。(DP3、DP4)

入学者の受入れに関する方針(公表方法: 大学案内 公式ホームページ )  
[https://www.rku.ac.jp/admissions/admission\\_policy/](https://www.rku.ac.jp/admissions/admission_policy/)

(概要) 流通情報学部は、Society5.0 や第4次産業革命など新たな時代の到来に向けて、流通科学および情報科学、さらにそれらの融合領域を含めた流通情報科学の視点から、新たな経済・社会システムのデザインに貢献できる人材を養成することを教育目標としています。この目標を達成するため、ロジスティクスの考え方を核として、実社会についての幅広い関心を持ち、専門的知識を活かして新たな社会やビジネスのあり方を探究する意欲と、自ら主体的に行動を起こしていく力を有する学生を求めています。

流通情報学部が具体的に求める学生像は、以下のとおりです。

**【知識と理解力】**

高等学校で学習する各科目について、高等学校卒業程度の知識を有し、それらの基本的な考え方を修得している学生

**【関心と意欲】**

流通・情報、さらにそれらの融合領域における課題に関心を持ち、大学で学んだ知識を活かして将来の経済・社会システムのデザインに貢献する意欲がある学生

**【共感力と行動力】**

社会やビジネスの場における様々な問題に共感し、多様なバックグラウンドや価値観などを持つ他者と協働して柔軟に問題解決を行うことができる学生

**【思考と表現力】**

流通・情報の分野における専門的知識を核として、社会やビジネスの場における様々な問題について多角的・多面的に考察し、文章やプレゼンテーションなど多様な手段によって自らの意見を他者に対して分かりやすく表現することのできる学生

流通情報学部は、上記の具体的に求める学生像に対応して、多様な選抜方法として、学校推薦型選抜、総合型選抜、一般選抜、そして、大学入学共通テスト利用型選抜を導入し、入学試験を行っています。

学部等名 法学部

教育研究上の目的(公表方法: ホームページ)

[https://www2.rku.ac.jp/class/course\\_summary/mokuji.pdf](https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf)  
 の各学部 2024 年度入学生

(概要)

法学部では、法律の知識に基づく論理的思考やバランス感覚を身に付け、幅広く奥行きのある教養と人間性をも備えた人材の養成を目的とする。

法律学科では、企業活動における法令遵守や企業統治の現代的意義を深く理解し、ビジネス界で実践できる人材の養成を目的とします。

自治行政学科では、地方自治を担う人材を養成すべく、専門の法律や政治・行政について理解し、地方自治に関わる分野で、法的思考力や政策形成能力を発揮できる人材の養成を目的とします。

卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページ）

[https://www2.rku.ac.jp/class/course\\_summary/mokuji.pdf](https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf)

の各学部 2024 年度入学生

(概要)

法律学科

法律学科では、「法の各分野を体系的に学ぶことによって法的思考力を修得するとともに、企業活動における法令遵守や企業統治の現代的意義を深く理解し、ビジネス界で実践できる人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（法学）の学位を授与します。

【ゆたかな教養】

DP1-1：人文・社会・自然・健康の各分野および外国語に関する幅広い教養、ならびに社会でそれらを活用できる見識と能力を身に付けている。

DP1-2：キャリア形成、家庭および地域コミュニティにおける生活など、人生のあらゆる場面において自らの生き方を主体的に構築するための知識と技能を身に付けている。

DP1-3：情報やデータを収集・整理し、論理的に分析できる能力を身に付けている。

【知識と技能】

DP2-1：企業活動における法令遵守（コンプライアンス）や企業統治（コーポレート・ガバナンス）に関する幅広い知識を身に付け、それらの現代的意義を深く理解し、実践できる。

DP2-2：グローバル時代に対応し、また、社会の様々な分野で活躍しうる、法およびその関連知識と、その知識を活用できる能力を身に付けている。

【問題発見と解決力】

DP3：多様化する社会や自らの生活における法的諸問題を発見し、それらを歴史的経緯などをも踏まえて理解したうえで解決する法的思考能力（リーガル・マインド）を身に付けている。

【コミュニケーション力と社会貢献力】

DP4：多様な価値観をもつ人々と積極的に意思疎通のできるコミュニケーション力、専門知識やそれに基づく考察を適切に表現し、対話・討論を行う能力、ならびに多様な人々と協力し、持続可能な社会に貢献する意欲と態度を身に付けている。

自治行政学科

自治行政学科では、「地方自治を担う人材を養成すべく、専門の法律や政治・行政について理解し、地方自治に関わる分野で、法的思考力や政策形成能力を発揮できる人

材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身に付けた学生の卒業を認定し、学士（法学）の学位を授与します。

**【ゆたかな教養】**

DP1-1： 人文・社会・自然・健康の各分野および外国語に関する幅広い教養、ならびに社会でそれらを活用できる見識と能力を身に付けている。

DP1-2： キャリア形成、家庭および地域コミュニティにおける生活など、人生のあらゆる場面において自らの生き方を主体的に構築するための知識と技能を身に付けている。

DP1-3： 情報やデータを収集・整理し、論理的に分析できる能力を身に付けている。

**【知識と技能】**

DP2-1： 公務員やNPO 職員等として地方自治体をはじめその他公共部門の一翼を担うことのできる、確かな法的思考力と政策形成能力を身に付けている。

DP2-2： 地方自治の発展、地域社会の活性化、持続可能で住みよいまちづくり等に関する幅広い知識、および地域のビジョンを描ける見識と能力を身に付けている。

**【問題発見と解決力】**

DP3： 多様化する地域社会における法的・政策的諸問題を発見し、専門知識を活用しつつそれらを論理的に分析したうえで、現実的解決策を構想し、提言する能力を身に付けている。

**【コミュニケーション力と社会貢献力】**

DP4： 多様な価値観をもつ人々と積極的に意思疎通でき、幅広い協力関係を築くことのできるコミュニケーション力、ならびにその協働を通し、地域の諸問題の改善に向けて自ら行動する社会貢献力を身に付けている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ）

[https://www2.rku.ac.jp/class/course\\_summary/mokuji.pdf](https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf)

の各学部 2024 年度入学生

**（概要）**

**法律学科**

法律学科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた能力を修得させるために、以下のような教育内容および教育方法に基づき教育課程表（カリキュラム）を体系的に編成するとともに、教育評価を行います。

**教育内容**

CP1： 国際社会で活躍できる人材の育成に向け、コミュニケーション力の向上を念頭に置いた外国語科目を配置する。（DP1-1）

CP2： 広く社会に貢献できる教養豊かで視野の広い人材の育成に向け、人文科学、社会科学、自然科学および健康科学に対する理解を深める教養科目を配置する。（DP1-1）

CP3： 自己実現と社会貢献に向けた能動的な姿勢を育成するキャリア科目を配置する。（DP1-2）

CP4： データサイエンス力を持つ人材の育成の基礎となる基本科目を配置する。（DP1-3）

CP5： 教員免許を取得するための教職科目を配置する。（DP1-2）

CP6： 法と政治の制度の枠組みを知り、また、法的思考の基礎となる知識を学ぶ専

門共通科目を配置する。(DP2-1、DP2-2)

CP7：社会が円滑に運営され、私たちが安全・安心に生活を送ることができるための基本的な法知識、ビジネスに対する基本的な法規整、および企業活動における法令遵守・企業統治の実践に必要な法知識、ならびにその知識を用いることができる技能を修得する専門基幹科目を配置する。(DP2-1、DP3)

CP8：法とビジネスを深く理解するための背景知識および関連知識を学び、または、修得した基本的な法知識を応用できる技能を修得する専門展開科目および関連科目を配置する。(DP2-2、DP3)

CP9：コミュニケーション力、および課題発見・解決力に基づいた社会貢献力を育成するための演習(ゼミ)を配置する。(DP3、DP4)

#### 自治行政学科

自治行政学科では、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げた能力を修得させるために、以下のような教育内容および教育方法に基づき教育課程表(カリキュラム)を体系的に編成・実施するとともに、教育評価を行います。

#### 教育内容

CP1：国際社会で活躍できる人材の育成に向け、コミュニケーション力の向上を念頭に置いた外国語科目を配置する。(DP1-1)

CP2：広く社会に貢献できる教養豊かで視野の広い人材の育成に向け、人文科学、社会科学、自然科学および健康科学に対する理解を深める教養科目を配置する。(DP1-1)

CP3：自己実現と社会貢献に向けた能動的な姿勢を育成するキャリア科目を配置する。(DP1-2)

CP4：データサイエンス力を持つ人材の育成の基礎となる基本科目を配置する。(DP1-3)

CP5：教員免許を取得するための教職科目を配置する。(DP1-2)

CP6：法と政治の制度の枠組みを知り、また、法的思考の基礎となる知識を学ぶ専門共通科目を配置する。(DP2-1、DP2-2)

CP7：社会が円滑に運営され、私たちが安全・安心に生活を送ることができるための基本的な法知識、地域における公共的活動に関わる法的・政策的知識、および地域社会への貢献に必要な知識を学ぶ専門基幹科目を配置する。(DP2-1、DP3)

CP8：地域社会のあり方を深く理解し、そのガバナンスとマネジメントについてより広い視野から考察するための知識と技能を習得する専門発展科目および関連科目を配置する。(DP2-2、DP3)

CP9：コミュニケーション力、および課題発見・解決力に基づいた社会貢献力を育成するための演習(ゼミ)を配置する。(DP3、DP4)

入学者の受入れに関する方針(公表方法：大学案内 公式ホームページ )  
[https://www.rku.ac.jp/admissions/admission\\_policy/](https://www.rku.ac.jp/admissions/admission_policy/)

(概要)法学部は、「法律の知識に基づく論理的思考やバランス感覚を身に付け、幅広く奥行きのある教養と人間性をも備えた人材の養成」を教育目標としています。こうした教育目標を十分に達成するため、法学部では、次のような学生を求めています。

#### 【知識と理解力】

法学部の専門科目を学ぶ上で高等学校で学習する基本教科につき十分な基礎学力を有する学生

#### 【関心と意欲】

法律問題や地方自治に関わる問題に関心を持ち、自ら進んでそれらの問題解決に必要な知

識や技能を学ぶ意欲を持っている学生  
【共感力と行動力】  
他者に共感し、問題解決のために他者と協力して行動しようとする姿勢を持っている学生  
【思考と表現力】  
物事を論理的に考え、自分の意見を他者に分かりやすく表現することができる学生  
法学部は、上記の具体的に求める学生像に対応して、多様な選抜方法として、学校推薦型選抜、総合型選抜、一般選抜、そして、大学入学共通テスト利用型選抜を導入し、入学試験を行っています。

学部等名 スポーツ健康科学部  
教育研究上の目的（公表方法：ホームページ）  
[https://www2.rku.ac.jp/class/course\\_summary/mokuji.pdf](https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf)  
の各学部 2024 年度入学生

(概要)

スポーツ健康科学部では、スポーツと健康の領域に関して、人間力と生命の尊厳を柱に多様な経験と専門的知識をもって諸問題を積極的に解決できる人材の養成を目的とする。

スポーツ健康科学科では、スポーツの競技力向上、青少年から高齢者にいたる健康の維持・増進活動、学校教育や社会教育の推進に寄与できる人材の養成を目的とする。

スポーツコミュニケーション学科では、スポーツをする・みる・ささえる人材のみでなく、広く社会一般においてスポーツから得た高度なコミュニケーション能力を活用できる人材の養成を目的とする。

卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページ）  
[https://www2.rku.ac.jp/class/course\\_summary/mokuji.pdf](https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf)  
の各学部 2024 年度入学生

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

スポーツ健康科学科

スポーツ健康科学科では、「スポーツの競技力向上、青少年から高齢者にいたる健康の維持・増進活動、学校教育や社会教育の推進に寄与できる人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身に付けた学生の卒業を認定し、学士（スポーツ健康科学）の学位を授与します。

【ゆたかな教養】  
DP1：人文・思想、地域・歴史、社会、自然および健康、キャリア、外国語などのゆたかな教養と見識を身に付けている。

【知識と技能】  
DP2：生命教育を中心としたスポーツ健康科学の学問内容および方法を理解している。

【問題発見と解決力】  
DP3：自ら設定した課題について、スポーツ健康科学の学問領域の知識を用いて考察することができる。

【コミュニケーション力と社会貢献力】

DP4-1：自分の考えを口頭表現、文章表現や身体表現によつて的確に伝えることができる。

DP4-2：スポーツ健康科学の知を実践の力へと高め、地域社会および国際社会のニーズにこたえることができる。

#### スポーツコミュニケーション学科

スポーツコミュニケーション学科では、「スポーツをする・みる・ささえる人材のみでなく、広く社会一般においてスポーツから得た高度なコミュニケーション能力を活用できる人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（スポーツ健康科学）の学位を授与します。

#### 【ゆたかな教養】

DP1：人文・思想、地域・歴史、社会、自然および健康、キャリア、外国語などのゆたかな教養と見識を身に付けている。

#### 【知識と技能】

DP2：スポーツ実践において必要となるコミュニケーション能力に関する知識・技能を身に付けている。

#### 【問題発見と解決力】

DP3：社会における諸問題を発見し、論理的に分析・解決する能力を身に付けている。

#### 【コミュニケーション力と社会貢献力】

DP4-1：スポーツを通じて学習したコミュニケーション力をはじめとする社会的能力を、広く社会で通用する汎用的能力へ転換できる。

DP4-2：「スポーツの力」を理解し、積極的にそれを社会貢献のために活用できる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ）

[https://www2.rku.ac.jp/class/course\\_summary/mokuji.pdf](https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf)

の各学部 2024 年度入学生

#### （概要）

#### スポーツ健康科学科

スポーツ健康科学科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた能力を 修得させるために、以下のような教育内容および教育方法に基づき教育課程表（カリキュラム）を体系的に編成・実施するとともに、教育評価を行います。

#### 教育内容

CP1：国際化社会において必須となる外国語によるコミュニケーション力を育成する科目を配置する。（DP1）

CP2：人文科学、社会科学、自然科学に対する理解を深める教養科目を配置する。（DP1）

CP3：生涯学習のための基礎的知識と自己実現に向けた能動的な姿勢を育成するキャリア科目を配置する。（DP1）

CP4：教員免許を取得するための教職科目を配置する。（DP1、DP2、DP3、DP4-1、

- DP4-2) 教員免許のほかスポーツ健康にかかわる資格を取得するための資格科目  
 CP5: 「生命 (いのち) の尊厳」と「人間力」を持った人材の育成を特に重視して  
 必修科目を配置する。(DP2、DP3、DP4-1)  
 CP6: コミュニケーション力および課題発見・解決能力を育成するため、演習科目  
 を配置する。(DP3、DP4-1、DP4-2)  
 CP7: 今日、スポーツ科学を構成している学問を幅広く修得させる専門基礎科目を  
 配置する。(DP2、DP3)  
 CP8: 発展的かつより専門性を持ったカリキュラムを構成するために専門発展科目  
 を配置する。(DP2、DP3、DP4-1、DP4-2)  
 CP9: スポーツの競技力向上を図る科目を配置する。(DP2)

#### スポーツコミュニケーション学科

スポーツコミュニケーション学科では、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げた能力を修得させるために、以下のような教育内容および教育方法に基づき教育課程表(カリキュラム)を体系的に編成・実施するとともに、教育評価を行います。

#### 教育内容

- CP1: 国際社会で活躍できる人材の育成に向け、コミュニケーション力の向上を念頭に置いた外国語科目を配置する。(DP1)  
 CP2: 広く社会に貢献できる教養豊かで視野の広い人材の育成に向け、人文科学、社会科学、自然科学に対する理解を深める教養科目を配置する。(DP1)  
 CP3: 生涯学習のための知識と自己実現に向けた能動的な姿勢を育成するキャリア科目を配置する。(DP1)  
 CP4: 教員免許を取得するための教職科目を配置する。(DP1、DP2、DP3、DP4)  
 教員免許のほかスポーツ健康にかかわる資格を取得するための資格科目  
 CP5: 学部の基盤となるスポーツ健康科学の基礎を学修するために、学部必修科目、学部基礎科目を配置する。(DP2)  
 CP6: 課題発見・解決能力、論理的思考力や多様な観点から考察する能力を育むために、演習や実習を重視し、実践を通して体系的に学修できるように学科必修科目や専門発展科目を配置する。(DP3)  
 CP7: 学科の基盤となるスポーツコミュニケーションの基礎を学修するために、学科必修科目と学科基礎科目を配置する。(DP4-1)  
 CP8: スポーツに関連したコミュニケーションを学修するために、3つの専門領域(コーチング領域、マネジメント領域、情報・メディア領域)を配置する。(DP4-2)  
 CP9: アドベンチャー精神とフォロワーシップ精神を持った人材を養成するために、体育・スポーツ学と「人と人・組織・社会との関係」を中心としたコミュニケーションを関連付けて学修できるように、ゼミや学科基礎科目を配置する。(DP4-1、DP4-2)

入学者の受入れに関する方針(公表方法: 大学案内 公式ホームページ )  
[https://www.rku.ac.jp/admissions/admission\\_policy/](https://www.rku.ac.jp/admissions/admission_policy/)

(概要) スポーツ健康科学部は、「人間力と生命の尊厳を柱に多様な経験と専門的知識をもって諸問題を積極的に解決できる人材の養成」を教育目標として掲げています。この目標を達成するため、スポーツを基点とする実践から導き出した知恵と専門的知識を活用して、より良い社会の創出に貢献したいという強い思いを持つ学生を求めています。スポーツ健康科学部が具体的に求める学生像は、以下のとおりです。

**【知識と理解力】**  
 体育および保健に限らず高等学校で学習する教科において、高等学校卒業相当の知識や技能を有している学生

**【関心と意欲】**  
 スポーツと健康の領域に関心を寄せつつ、同領域での多様な経験と専門知識をもって諸問題を解決したいという意欲を持ち、そして自らの価値を高めたいという志を持つ学生

**【共感力と行動力】**  
 多様性を尊重しながら、何事にも積極的にチャレンジし続けることができる学生

**【思考と表現力】**  
 多様で複雑な事象を複数の視点から捉え、そうした視点から導き出した自らの考えを他者に分かりやすく伝えることを心がけている学生

スポーツ健康科学部は、上記の具体的に求める学生像に対応して、多様な選抜方法として、学校推薦型選抜、総合型選抜、一般選抜、そして、大学入学共通テスト利用型選抜を導入し、入学試験を行っています。

## ②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページ上にて公開  
<https://www.rku.ac.jp/about/data/organizations/>

## ③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	4人	—					4人
経済学部	—	21人	14人	2人	1人	人	38人
共創社会学部	—	15人	10人	1人	0人	人	26人
流通情報学部	—	13人	3人	1人	2人	人	19人
法学部	—	14人	10人	2人	1人	人	27人
スポーツ健康科学部	—	20人	12人	2人	3人	人	37人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
0人		198人				198人	
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：HPにて公開 <a href="https://www.rku.ac.jp/faculty/professors/">https://www.rku.ac.jp/faculty/professors/</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
2023.09	2023年度 春学期 教員アンケート						
2023.09	2023年度 春学期 授業アンケート						
2023.09	2023年度 第1回 全学科一斉FD研修会						
2023.09	2023年度 新任教員のフォローアップ研修会						
2024.02	2023年度 第2回 全学科一斉FD研修会						

2024.02	2023 年度	ベストティーチャー賞
2024.03	2023 年度	FD 活動貢献賞
2024.03	2023 年度	秋学期 教員アンケート
2024.03	2023 年度	秋学期 授業アンケート

④ 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経済学部	410 人	429 人	104.6%	1520 人	1605 人	105.6%	若干名	1 人
共創社会学部	210 人	218 人	103.8%	1000 人	741 人	74.1%	20 人	2 人
流通情報学部	130 人	154 人	118.5%	520 人	530 人	101.9%	若干名	1 人
法学部	200 人	168 人	84.0%	840 人	734 人	87.4%	20 人	1 人
スポーツ健康 科学部	300 人	338 人	112.7%	1200 人	1286 人	107.2%	若干名	2 人
合計	1250 人	1307 人	104.6%	5080 人	4896 人	96.4%	40 人	7 人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経済学部	372 (100%) 人	0 ( 0%) 人	331 (89.0%) 人	41 (11.0%) 人
共創社会学部	259 (100%) 人	8 ( 3.1%) 人	228 (88.0%) 人	23 ( 8.9%) 人
流通情報学部	140 (100%) 人	7 ( 5.0%) 人	110 (78.6%) 人	23 (16.4%) 人
法学部	206 (100%) 人	4 ( 2.0%) 人	169 (82.0%) 人	33 (16.0%) 人
スポーツ健康 科学部	269 (100%) 人	3 ( 1.1%) 人	249 (92.6%) 人	17 ( 6.3%) 人
合計	1246 (100%) 人	22 ( 1.8%) 人	1087 (87.2%) 人	137 (11.0%) 人
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
日本通運(株)、NX商事(株)、清水建設(株)、(株)常陽銀行、龍ヶ崎市役所 他				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
合計	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)の作成について、教員に1月末から2月末までインターネットを利用して、シラバス入稿を依頼している。</p> <p>また、授業計画(シラバス)の公開は、学生の履修登録前の3月上旬に実施している。各学部とも同様の取扱いをしている。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)
<p>学修の成果に係る評価について、各学生の学修成果に基づき、試験の結果やレポートの内容などに基づいて学修成果を判定している。</p> <p>また、学修成果に基づき、成績[合格 S(90点以上)、A(80～89点)、B(70～79点)、C(60～69点)、不合格 D(59点以下)、/(評価不能)]を判定している。</p> <p>シラバスに記載した「成績評価の方法」により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。</p> <p>各学部とも同様の取扱いをしている。</p> <p>卒業又は修了の認定に当たっての基準について、各学部学科のディプロマポリシーは、下記の通りです。</p> <p>なお、全学部全学科とも、4年以上在学し、卒業判定で卒業に必要な所定の単位(124単位以上)を修得した学生は、卒業となる。</p>
<p>経済学部経済学科</p> <p>経済学科では、「経済・社会情勢を的確に見極めるための基礎知識を持ち、実践の場においてこれを応用できる人材を養成」することを目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士(経済学)</p>

の学位を授与します。

**【ゆたかな教養】**

DP1-1：人文・思想、地域・歴史、社会、自然、健康および外国語に関する幅広い教養を学び、持続可能な社会で活用できる見識と能力を身に付けている。

DP1-2：就職、仕事、家庭や趣味などを含めた人生全体を形成するための知識、方法や資格を身に付けている。

**【知識と技能】**

DP2-1：経済学の理論と現実の経済をバランスよく学習し、それにもとづいて課題に対応していく知識や技能、態度を身に付けている。

DP2-2：実践的な講座により培われた知識と技能に基づいた社会・企業における職務遂行能力を身に付けている。

**【問題発見と解決力】**

DP3：自分で考え、周囲の人と意思の疎通を図りながら、問題を解決していく知識や能力、態度を身に付けている。

**【コミュニケーション力と社会貢献力】**

DP4：国際社会やビジネスの現場で活躍するために必要なコミュニケーション力を身に付けている。

経済学部経営学科

経営学科では、「経営学全般の基礎的理論の修得をはかり、さらに実践的教育をほどこすことを通して現場の多様な課題に対応できるスペシャリストの養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（経営学）の学位を授与します。

**【ゆたかな教養】**

DP1-1：人文・思想、地域・歴史、社会、自然、健康および外国語に関する幅広い教養を学び、持続可能な社会で活用できる見識と能力を身に付けている。

DP1-2：就職や仕事、家庭、趣味などを含めた人生全体を形成するための知識や方法、資格を身に付けている。

**【知識と技能】**

DP2-1：起業・マネジメント、流通・マーケティング、会計・ファイナンスの各分野からなる経営学に関する幅広い知識と技能を理解し、それらを実践できる能力を身に付けている。

DP2-2：経営に関する幅広い知識と技能を営利または非営利の組織活動に適用できる能力を有している。

**【問題発見と解決力】**

DP3：多様化する企業の経営課題を発見し、データを収集・分析したうえで、経営課題を解決するような提案を行うことができる。

**【コミュニケーション力と社会貢献力】**

DP4：多様な価値観をもつステークホルダーと積極的に意思疎通のできるコミュニケーション力、ならびに多様な人々と協力し、持続可能な社会に貢献する意欲と態度を身に付けている。

共創社会学部地域人間科学科

地域人間科学科では、「産業、社会、文化、地域、教育、福祉等にかかわる諸問題に適切に対応しうる実証的な思考能力と行動力を備えた人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（社会学）の学位を授与します。

**【ゆたかな教養】**

DP1： 様々な分野で創造性と人間性を発揮し、広く社会に貢献できる豊かな教養、そして多様な文化を理解し自己の意思を表現するための外国語運用能力、また生涯学び成長し続けていくための土台を築き、卒業後のキャリアを自ら構想する能力を身に付けている。

**【知識と技能】**

DP2-1： 社会学や心理学を基盤とした実践的・実証的な社会科学の知識・技能、またその成果を社会に還元しようとする姿勢を身に付けている。

DP2-2： 実践に基づいた社会学、心理学、社会福祉学、保育学のいずれかひとつ、または複数についての専門的知識・技能を身に付けている。

**【問題発見と解決力】**

DP3： 知識やスキルの活用能力、批判的・論理的思考力、表現能力、他者の思いや考えを受け取る力、および自ら問題を発見し解決を試みる能動的な姿勢を身に付けている。

**【コミュニケーション力と社会貢献力】**

DP4： 多様な価値観をもつ人々との相互理解を実現するコミュニケーション力を備えるとともに、知識・技能を活かして社会に学び社会に貢献する意欲と態度を身に付けている。

共創社会学部国際文化ツーリズム学科

国際文化ツーリズム学科では、「観光に関わる生活、産業、社会、文化などの分野で、柔軟な思考能力と専門的な知識を備えて活躍する国際的人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身に付けた学生の卒業を認定し、学士（社会学）の学位を授与します。

**【ゆたかな教養】**

DP1： 様々な分野で創造性と人間性を発揮し、広く社会に貢献できる豊かな教養、そして多様な文化を理解し自己の意思を表現するための外国語運用能力、また生涯学び成長し続けていくための土台を築き、卒業後のキャリアを自ら構想する能力を身に付けている。

**【知識と技能】**

DP2-1： 社会学的方法を基盤として実証的ないし実践的に多文化共生、地域環境、国際観光ビジネスの分野を理解する態度を身に付けている。

DP2-2： 多文化共生、地域環境、国際観光ビジネスの三つの領域の一つまたは複数についての、専門的かつ実践的な知識を身に付けている。

**【問題発見と解決力】**

DP3： 幅広い仕事の現場やその他の社会生活の局面において、主体的に問題発見し、その解決に向けて行動する態度を身に付けている。

**【コミュニケーション力と社会貢献力】**

DP4-1： 社会の多様性を背景とした、英語コミュニケーション能力または多角的な思考能力を身に付けている。

DP4-2： 多様な価値観をもつ人々との相互理解を実現するコミュニケーション力を備えるとともに、知識・技能を活かして社会に学び社会に貢献する意欲と態度を身に付けている。

流通情報学部流通情報学科

流通情報学科では、「ロジスティクスの考え方を核として、広い視野を持って経済・

社会システムをデザインすることができる人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身に付けた学生の卒業を認定し、学士（流通情報学）の学位を授与します。

**【ゆたかな教養】**

DP1-1：人文・思想、地域・歴史、社会、自然、健康および外国語に関する幅広い知識を有し、人生全般において文化的で豊かな生活を営むための教養と見識を身に付けている。

DP1-2：キャリアデザインおよび社会貢献に資する教養と見識を身に付けている。

**【知識と技能】**

DP2-1：流通、物流および情報の学際領域である流通情報学に関する幅広い知識と技能を有し、経済・社会システムをデザインする能力を身に付けている。

DP2-2：実践的な講座により培われた知識と技能に基づいた社会・企業における職務遂行能力を身に付けている。

**【問題発見と解決力】**

DP3：複雑化する社会における諸問題を発見し、情報やデータを収集・整理し、論理的に分析・解決する能力を身に付けている。

**【コミュニケーション力と社会貢献力】**

DP4：多様な価値観をもつ人々と積極的に意思疎通のできるコミュニケーション力、ならびに多様な人々と協働し、包摂的で持続可能な社会に貢献する意欲と態度を身に付けている

法学部法律学科

法律学科では、「法の各分野を体系的に学ぶことによって法的思考力を修得するとともに、企業活動における法令遵守や企業統治の現代的意義を深く理解し、ビジネス界で実践できる人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（法学）の学位を授与します。

**【ゆたかな教養】**

DP1-1：人文・社会・自然・健康の各分野および外国語に関する幅広い教養、ならびに社会でそれらを活用できる見識と能力を身に付けている。

DP1-2：キャリア形成、家庭および地域コミュニティにおける生活など、人生のあらゆる場面において自らの生き方を主体的に構築するための知識と技能を身に付けている。

DP1-3：情報やデータを収集・整理し、論理的に分析できる能力を身に付けている。

**【知識と技能】**

DP2-1：企業活動における法令遵守（コンプライアンス）や企業統治（コーポレート・ガバナンス）に関する幅広い知識を身に付け、それらの現代的意義を深く理解し、実践できる。

DP2-2：グローバル時代に対応し、また、社会の様々な分野で活躍しうる、法およびその関連知識と、その知識を活用できる能力を身に付けている。

**【問題発見と解決力】**

DP3：多様化する社会や自らの生活における法的諸問題を発見し、それらを歴史的経緯などをも踏まえて理解したうえで解決する法的思考能力（リーガル・マインド）を身に付けている。

**【コミュニケーション力と社会貢献力】**

DP4：多様な価値観をもつ人々と積極的に意思疎通のできるコミュニケーション力、専門知識やそれに基づく考察を適切に表現し、対話・討論を行う能力、ならびに

多様な人々と協力し、持続可能な社会に貢献する意欲と態度を身に付けている。

#### 法学部自治行政学科

自治行政学科では、「地方自治を担う人材を養成すべく、専門の法律や政治・行政について理解し、地方自治に関わる分野で、法的思考力や政策形成能力を発揮できる人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身に付けた学生の卒業を認定し、学士（法学）の学位を授与します。

##### 【ゆたかな教養】

DP1-1：人文・社会・自然・健康の各分野および外国語に関する幅広い教養、ならびに社会でそれらを活用できる見識と能力を身に付けている。

DP1-2：キャリア形成、家庭および地域コミュニティにおける生活など、人生のあらゆる場面において自らの生き方を主体的に構築するための知識と技能を身に付けている。

DP1-3：情報やデータを収集・整理し、論理的に分析できる能力を身に付けている。

##### 【知識と技能】

DP2-1：公務員やNPO職員等として地方自治体をはじめその他公共部門の一翼を担うことのできる、確かな法的思考力と政策形成能力を身に付けている。

DP2-2：地方自治の発展、地域社会の活性化、持続可能で住みよいまちづくり等に関する幅広い知識、および地域のビジョンを描ける見識と能力を身に付けている。

##### 【問題発見と解決力】

DP3：多様化する地域社会における法的・政策的諸問題を発見し、専門知識を活用しつつそれらを論理的に分析したうえで、現実的解決策を構想し、提言する能力を身に付けている。

##### 【コミュニケーション力と社会貢献力】

DP4：多様な価値観をもつ人々と積極的に意思疎通でき、幅広い協力関係を築くことのできるコミュニケーション力、ならびにその協働を通し、地域の諸問題の改善に向けて自ら行動する社会貢献力を身に付けている。

#### スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科

スポーツ健康科学科では、「スポーツの競技力向上、青少年から高齢者にいたる健康の維持・増進活動、学校教育や社会教育の推進に寄与できる人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身に付けた学生の卒業を認定し、学士（スポーツ健康科学）の学位を授与します。

##### 【ゆたかな教養】

DP1：人文・思想、地域・歴史、社会、自然および健康、キャリア、外国語などのゆたかな教養と見識を身に付けている。

##### 【知識と技能】

DP2：生命教育を中心としたスポーツ健康科学の学問内容および方法を理解している。

##### 【問題発見と解決力】

DP3：自ら設定した課題について、スポーツ健康科学の学問領域の知識を用いて考察することができる。

##### 【コミュニケーション力と社会貢献力】

DP4-1：自分の考えを口頭表現、文章表現や身体表現によつて的確に伝えることができる。

DP4-2：スポーツ健康科学の知を実践の力へと高め、地域社会および国際社会のニーズにこたえることができる。

スポーツ健康科学部スポーツコミュニケーション学科

スポーツコミュニケーション学科では、「スポーツをする・みる・ささえる人材のみでなく、広く社会一般においてスポーツから得た高度なコミュニケーション能力を活用できる人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（スポーツ健康科学）の学位を授与します。

【ゆたかな教養】

DP1：人文・思想、地域・歴史、社会、自然および健康、キャリア、外国語などのゆたかな教養と見識を身に付けている。

【知識と技能】

DP2：スポーツ実践において必要となるコミュニケーション能力に関する知識・技能を身に付けている。

【問題発見と解決力】

DP3：社会における諸問題を発見し、論理的に分析・解決する能力を身に付けている。

【コミュニケーション力と社会貢献力】

DP4-1：スポーツを通じて学習したコミュニケーション力をはじめとする社会的能力を、広く社会で通用する汎用的能力へ転換できる。

DP4-2：「スポーツの力」を理解し、積極的にそれを社会貢献のために活用できる。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
経済学部	経済学科	124 単位	⑦・無	1・2 学年 44 単位 3・4 学年 49 単位
	経営学科	124 単位	⑦・無	1・2 学年 44 単位 3・4 学年 49 単位
共創社会学部	地域人間科学科	124 単位	⑦・無	1・2 学年 44 単位 3・4 学年 49 単位
	国際文化ツーリズム学科	124 単位	⑦・無	1・2 学年 44 単位 3・4 学年 49 単位
流通情報学部	流通情報学科	124 単位	⑦・無	1・2 学年 44 単位 3・4 学年 49 単位
法学部	法律学科	124 単位	⑦・無	1・2 学年 44 単位 3・4 学年 49 単位
	自治行政学科	124 単位	⑦・無	1・2 学年 44 単位 3・4 学年 49 単位
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	124 単位	⑦・無	1・2 学年 44 単位 3・4 学年 49 単位
	スポーツコミュニケーション学科	124 単位	⑦・無	1・2 学年 44 単位 3・4 学年 49 単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページ上にて公開  
<https://www.rku.ac.jp/campuslife/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)			
経済学部	経済学科	830,000 円 (2023 年度以降 入学者)	260,000 円 (2023 年度以降 入学者)	226,000 円	その他内訳 施設拡充費 198,000 円 実験実習費 8,000 円 課外活動振興費 20,000 円			
	経営学科							
共創社会 学部	地域人間 科学科	782,000 円 (2022 年度以前 入学者)	308,000 円 (2022 年度以前 入学者)	376,000 円		その他内訳 施設拡充費 304,000 円 実験実習費 52,000 円 課外活動振興費 20,000 円		
	国際文化 ツーリズム学科							
流通情報 学部	流通情報 学科	782,000 円 (2022 年度以前 入学者)	308,000 円 (2022 年度以前 入学者)				376,000 円	その他内訳 施設拡充費 304,000 円 実験実習費 52,000 円 課外活動振興費 20,000 円
法学部	法律学科							
	自治行政 学科	782,000 円 (2022 年度以前 入学者)	308,000 円 (2022 年度以前 入学者)		376,000 円			
スポーツ 健康科学 部	スポーツ 健康科学 科							
	スポーツ コミュニ ケーショ ン学科	782,000 円 (2022 年度以前 入学者)	308,000 円 (2022 年度以前 入学者)	376,000 円		その他内訳 施設拡充費 304,000 円 実験実習費 52,000 円 課外活動振興費 20,000 円		

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>教育学習支援センターの取組</p> <p>教育学習支援センター（以下「KGC」と記す。）は、本学学生の学習支援活動および各学部、各学科ならびに各教員の行う教育を多角的に支援する活動を実施することで、本学学生がその基礎的な学力を高め、または発展的な学習研究活動に取り組むなど自律的な学習者として本学において円滑に修学することを促進するために設置され、活動を行っている。</p> <p>【初年次教育】</p> <p>KGCは、入学式後約1週間にわたって実施する導入教育（新入生オリエンテーションプログラム）を主導する。1週間のプログラムでは、新入生相互／新入生と在学生・教職員との交流を促進して新しい環境における人間関係構築のきっかけを提供するとともに、大学における学習計画の立て方や履修登録の仕方に習熟する機会を設ける事で、円滑な修学に向けた支援を実施する。</p> <p>【学習支援】</p> <p>KGCは、本学入学者が多様な入試形態で入学することを踏まえた上で、上記新入生オリエンテーションプログラム中に個々の学生の強みと苦手とするところを把握し、必要に応じて学期開始後に実施する修学基礎講座を中心とする大学における円滑な修学に向けた学習支援を行う。また、大学生であればその獲得が期待される汎用的なライティングスキルの指導、より高度なあるいはより幅の広い学習にチャレンジしようとする学生に対して個別的な</p>
---

助言的指導を行う。さらに、さまざまな専門を持った教員が、身近な話題や時事問題などを専門的な切り口から分かりやすく解説する企画を立案・実施し、普段の講義と違った形式の気楽な雰囲気を通じて、学問の面白さに接するとともに教員と交流する機会を設けている。

**【教育支援】**

KGCは、学部教員の求めに応じ、個々の学生の置かれた状況にできる限り即した形で適切な指導・助言を行う。また、少人数教育の理念と全員ゼミ制による教育効果を確保するため、指導・助言の必要な学生に対し、ゼミ担当教員と連携して多角的な指導・助言を行う。

**【学生支援】**

KGCは、上述するような様々な機会を通じて多くの学生と接触を図るが、学習支援以外のサポート（教務事項に関するアドバイス、経済的支援や心身の健康に関する相談、キャリアに関するアドバイスなど）が必要だと判断される場合には、速やかに学内他部署（教務課、学生生活課、就職キャリア支援センター、学生相談室、保健室等）と連携して、適切な支援が受けられるよう助言・指導を実施している。

**b. 進路選択に係る支援に関する取組**

**（概要）**

2023年度は、対面での個別の就職指導に力を入れました。

また、4年生に対してはWeb学内合同企業説明会を通年開催し、年度末まで幅広い支援を継続しました。

3年生に対してはクラウド型教育支援サービス（manaba）を活用し、履歴書・エントリーシートへの添削などを行いました。

一方で対面でのゼミナール毎の就職ガイダンスを実施するなど、対面・Webの効果的な使い分けが広がりました。

**c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組**

**（概要）**

**【学生相談室】**

学生相談室では、学業のこと、クラブ・サークルのこと、進路や就職、友達・家族・異性との人間関係、身体的なことや自分の性格のことなど、臨床心理士資格を有する学生相談員がお話を伺いながら、一緒に問題解決にあたっています。

**【保健室】**

保健室では、学校医による「健康相談」をおこなっています（一人暮らしの食生活、健康管理や精神的ストレスについてなどのアドバイスをしています）。

**⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法**

公表方法：図書館ホームページ内流通経済大学学術情報リポジトリ上にて公開  
<https://rku.repo.nii.ac.jp/?page=1&size=20&sort=controlnumber>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F108310101465
学校名 (〇〇大学 等)	流通経済大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人日通学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		498人	480人	520人
内訳	第Ⅰ区分	277人	281人	
	第Ⅱ区分	125人	117人	
	第Ⅲ区分	96人	82人	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者 (年間)				—
合計 (年間)				521人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	— 人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	11人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	12人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	— 人	人	人
計	23人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	— 人	前半期	— 人	後半期	— 人
(備考)					

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	— 人	人	人
G P A等が下位4分の1	50人	人	人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	— 人	人	人
計	51人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。